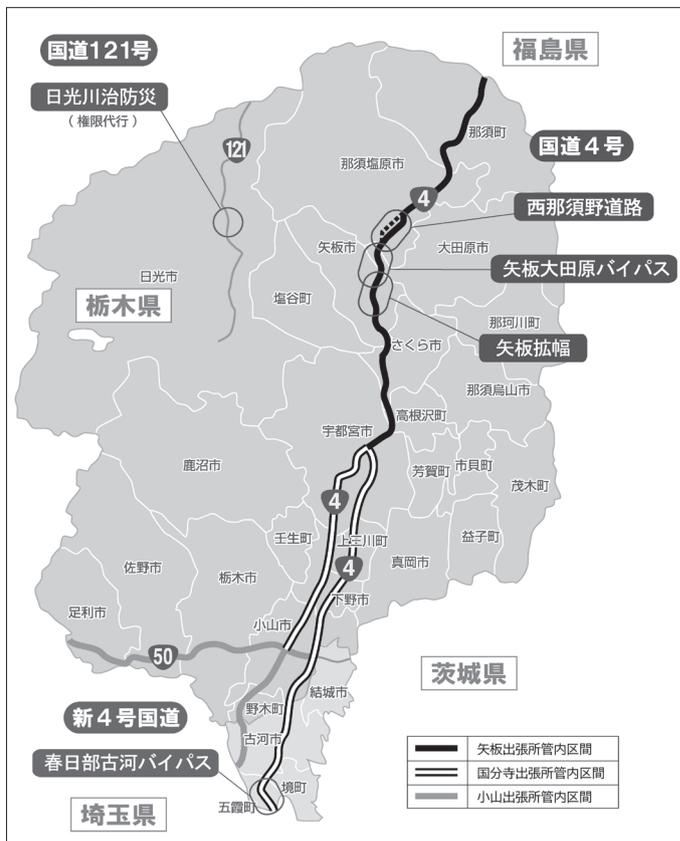


宇都宮国道事務所の事業概要について

国土交通省 関東地方整備局
宇都宮国道事務所長 笹木 和彦



宇都宮国道事務所 主要事業位置図



栃木県北及び県央地域を結ぶ幹線道路です。平成 18 年度に事業着手し、現在、用地買収は完了し、調査設計、三区町地区ほかの公共補償、改良工事、電線共同溝工事を進めており、令和 7 年 11 月には烏ヶ森歩道橋が開通しました。引き続き事業を推進してまいります。

○国道 4 号 矢板拡幅

国道 4 号の栃木県矢板市片岡から同市針生に至る延長 6.5 km の東北道と並行する南北方向の幹線道路です。平成 27 年度に事業着手し、現在、調査設計、片岡地区ほか用地買収、前岡地区改良工事を進めております。

○国道 4 号 矢板大田原バイパス

国道 4 号の矢板市針生から那須塩原市三区町に至る延長 7.9 km の道路です。平成 31 年度に事業着手し、現在、調査設計、土屋地区ほかの用地買収、環境整備を進めております。

1. はじめに

国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所は、栃木県内（一部茨城県を含む）の一般国道 4 号、新 4 号国道及び一般国道 50 号の合計約 230 km の整備や維持管理を担当しています。特に国道 4 号は、宇都宮市以南における国道 4 号で約 2 万台、バイパスである新 4 号国道で 8 万台近くの交通量があり、その沿線には製造業を中心とした企業が立地し、栃木県の経済を支えている主要な道路となっています。

2. 主要事業の概要

○国道 4 号 西那須野道路

国道 4 号の栃木県那須塩原市三区町から同市西富山に至る延長 4.6 km の



にしなすのからすもり
西那須野道路（烏ヶ森歩道橋を望む）



やいたおたわら
矢板大田原バイパス (宇都宮方向から福島方向を望む)



やいた なかきた
矢板拡幅 (中北交差点付近の現況)

○新4号国道 春日部古河バイパス (茨城県区間)

新4号国道の埼玉県春日部市下柳から茨城県古河市柳橋に至る21.5kmのうち、茨城県区間の11.2kmを所掌しております。昭和49年度より事業に着手し、平成26年度までに全線を暫定4車線で供用しました。現在、平面交差点の立体化整備を進めており、調査設計、幸主地区や元栗橋地区においては、改良工事等を実施しております。

○国道121号日光川治防災 (権限代行)

国道121号の栃木県日光市西川から同市川治温泉滝に至る延長3.4kmの防災事業です。平成31年度に直轄権限代行により事業着手し、測量調査、地質調査、トンネルや橋梁の設計等を実施してきました。現在は、調査設計、

川治地区公共補償を実施するとともに、川治地区改良工事において工事用道路等に着手しました。また、川治地区橋梁下部工事の着手に向けて準備を進めているところです。

○建設業の魅力向上・担い手確保・働き方改革

地域建設業における担い手確保は栃木県においても大きな課題となっております。そのため、効果的な担い手確保を目的として、国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所が事務局となり産学官が連携した「とちぎ建設業魅力向上連絡協議会」を設立いたしました。協議会では、地域建設業を含む建設分野全体の魅力を効果的に発信する方策を議論するとともに、各種イベントなどに協議会として参加し、若者に対して連携して魅力を伝える取組みを実践して

います。他にも、建設業の魅力向上・担い手確保・働き方改革の取組みとして猛暑期間に現場作業を休むことができるよう特記仕様書に記載する等、現場での様々な工夫を促す施策を実施しております。

3. おわりに

災害に強く、誰もが安心して通行できる道路整備を目指し、地域の皆様のご理解・ご協力のもと、関係機関や建設業で働く方々と連携しながら、安全・安心で魅力ある地域づくりを支える各事業を着実に推進します。また、建設分野の魅力向上のため産学官連携、猛暑対策をはじめとした様々な「新たな挑戦」を継続、改善していき、業界や社会構造を変革させるモデルケースとなることを目指して取り組んでまいります。



かすかべが 五霞町幸主跨道橋付近
春日部古河バイパス (五霞町幸主跨道橋付近)



日光川治温泉滝 (直轄権限代行区間) 日光川治防災 L=3.4km
国道121号日光川治防災 (川治側の施工イメージ図)